

令和８年度第６回奈良市プロポーザル方式採否審査会会議録				
開催日時	令和８年７月８日（水）午後１時３０分から			
開催場所	奈良市役所 中央棟５階 秘書課会議室			
出席者	委員長	鈴木副市長		
	委員	小西総務部長 谷田市民部長 秋田環境部長 増田都市整備部長 若林教育部長		
	事務局	契約課長、契約課長補佐		
開催形態	公開（傍聴人 ０人）	担当課	環境都市推進課	
議題 又は案件	官民連携による奈良市環境都市ビジョン具現化及び事業スキーム構築等支援業務			
決定又は取 り纏め事項	採用			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
1. 議事の概要				
(１) 業務の目的				
奈良市では、「ごみ＝資源【宝】と価値観を転換し、限りある資源の循環を通して、私たちの暮らしを将来に渡って持続維持可能なものにする」というビジョンのもと、新クリーンセンターでの高効率なエネルギー回収と新たな価値創出、リサイクルセンターの整備、地域資源循環モデルの構築という３つの柱を軸に、資源循環を推し進め、持続可能な環境都市の実現を目指している。この方針を実現するために、本市が目指すべき未来像を明確化した「奈良市における環境都市の実現について」を取りまとめた。 とりわけ本市では、新たなクリーンセンターの整備を計画しており、このクリーンセンターでは、これまで不要とされていたごみを資源（燃料）とし、そこから環境にやさしい再生可能エネルギーを創出し、生み出したエネルギーを使い、持続可能な環境・産業を支えるものとしている。このクリーンセンターを含めた上記３つの柱を一体的に推進することで、本市独自の循環型社会のあり方を具体化するものである。 本プロポーザルでは、本市が目指すべき未来像を共に描き、具現化していくための高度な専門性と事業推進能力を有する民間事業者を「協働パートナー」として選定する。協働パートナーは、民間の創意工夫に基づき、地域に受け入れられる事業スキームを提案し、本市のビジョンを具現化するパートナーとしての役割を担う。また、この協働過程を通じて、実現性のある事業条件を整理し、将来事業者の公募不調リスクを低減することを目的とする。				
(２) プロポーザル方式を採用する具体的な理由				
本事業は、エネルギー利活用や周辺整備、複数の拠点での検討を含む複合的な事業であり、収益構造や事業スキーム、参画主体の組み合わせにより事業の成立可否が大きく左右される特徴を有している。そのため、市があらかじめ最適な事業内容や事業スキームを特定することが困難である。また、通常の計画策定業務委託においては、中立的立場からの計画策定にとどまり、投資回収やリスク負担を踏まえた実装可能性の検討が十分に行われないおそれがある。				

そこで本業務では将来の事業参画を見据えた民間事業者から広く提案を募り、自ら参画する前提で収益性を踏まえた事業スキームの検討を行わせることで、実現性の高い事業条件を整理することを目的として、公募型プロポーザル方式により実施するものである。

2. 審議

受託者選定にあたって、プロポーザル方式が適切かの審議を行った。

3. 結論

プロポーザル方式を採用した。